

ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱い下さいようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

T-714 取扱説明書

- ### 製品仕様
- 時間精度：平均月差±30秒以内(常温での使用時)
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
 - 表示精度：±1秒以内(電波受信による時刻修正の直後)
 - 使用温度範囲：0～+40℃
 - 時刻表示：12時間制表示、24時間制表示
 - 使用推奨電池：単4形アルカリ乾電池(LR03 1.5V)1個(電池別売)
 - 電池寿命：約10ヶ月
(単4形アルカリ乾電池を使用し、1日にアラームを30秒、ライトを1回使用した場合)
 - 受信電波：標準電波JY、周波数：40kHz/60kHz(自動選局)
 - 自動受信回数：最多3回/1日
 - カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日(フルオート)
 - 表示温度範囲：0～+50℃
※0℃より低いとLL.L、50℃より高いとHH.Hを表示
 - 温度計精度：±1℃(0～+30℃の範囲)
 - 電波受信ON/OFF機能
 - 電波受信状況表示
 - 電池交換お知らせ表示
 - アラーム：電子音(1分間オートストップ)
 - スヌーズ機能(無制限繰り返し可能)
 - スヌーズ間隔任意設定(5～60分)
 - ライト機能(バックライト)：残照機能(約4秒間)

注意と警告 安全にご使用いただくために

下記の注意事項を必ず守って下さい。

- ### 使用上の注意
- 禁止 ●分解・改造をしないで下さい。
 - 注意 ●警告 ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用、保管をしないで下さい。●温度が0℃以下、または+40℃以上になる場所●浴室など、湿気が多い場所●直射日光などの強い紫外線が当たる場所●強い磁気のある場所●振動の激しい場所、不安定な場所●工場、台所など、油分の多く発生する場所●温泉場など、ガスの発生する場所●温風機などの乾燥した風が当たる場所●塵や埃の多い場所●ゴムやビニール系素材に長い間直接触れさせておくと、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。

- ### お手入れについて
- プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラダ拭きして下さい。
 - ペンジン、アルコールなどの溶剤、ミカキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してもなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

電池について

- 禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●＋と－を逆にしないで下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。
- 注意 ●警告 ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。●長期間機器を使用しない場合は、液剤から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液剤に当たらないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、クガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、医師に相談して下さい。●電池を着脱の際は、指先等をクガさないよう注意して下さい。●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は、各自治体の指示に従って下さい。●充電式電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きな場合があります。●アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。●新しい置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の交換について

電池容量が不足してくると、電池交換お知らせ表示が点灯します。また、液晶表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなったり、歪んだりします。このような場合は、速やかに新しい乾電池に交換して下さい。

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示面には触れないで下さい。表示が見えにくくなる場合があります。しばらくすると、元に戻ります。
- 0～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

温度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意して下さい。

保証書

GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	T-714
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ日	

この保証書は、複製のため、ご利用できません。

販売店

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。
(This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社
本社：〒1111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 コーハイツ伸光3階

保証・アフターサービスについて

- 保証の内容については左記保証書をご覧下さい。尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 - ◆本保証書の提示がない場合
 - ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
 - ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
 - ◆改造または分解により生じた故障・損傷
※40kHz/60kHzの点灯は、電波受信を意味します。
 - ◆火災や天災地変による故障・損傷
 - ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
- 保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様がお買上げ店にお持ちいただきます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
- 修理品をお持ち込み・ご送付される場合の運賃、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
- 本製品、ならびにアフターサービスなどにつきまして不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります型番をご確認の上、ノア精密株式会社サービスセンターにお問い合わせ下さい。(型番：T-714)

ノア精密株式会社 サービスセンター
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-4-6-1
TEL:048-933-4080
https://www.mag-clock.co.jp

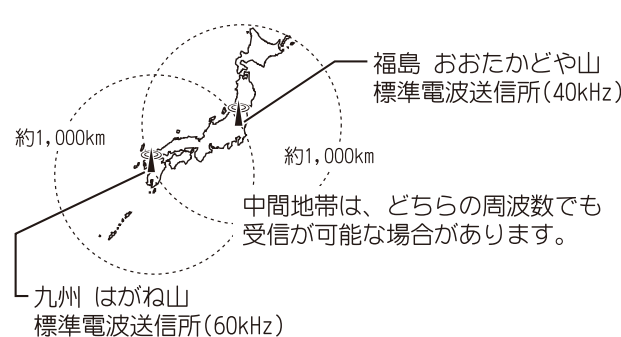
受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
10:00～12:00、13:00～17:00
※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツ精度で計時します。

標準電波について

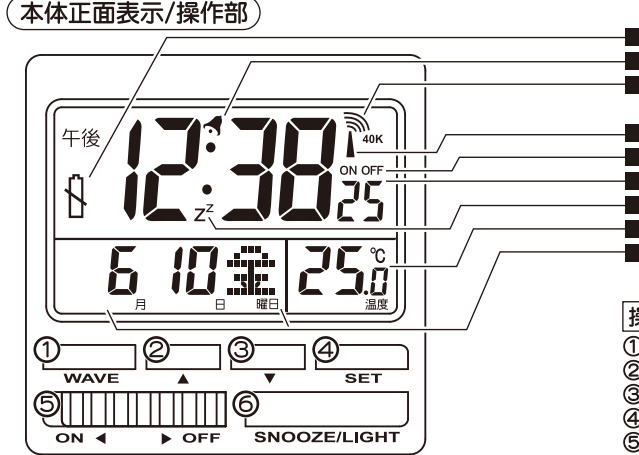
日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。
- 情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jiy.nict.go.jp>

各部の名称

本体正面表示/操作部



- 電池交換お知らせ表示：電池容量が少なくなったときに表示されます。
 - アラームセットマーク：アラームの[入・切]状態を表示します。
 - 電波状況表示：電波受信のとき、設置場所の電波状況を表示します。
※40kHz/60kHzの点灯は、電波受信を意味します。
 - 受信マーク：受信の結果を表示します。
 - 電波受信ON/OFFマーク：電波受信の[入・切]状態を表示します。
 - 時刻表示：時/分/秒を表示します。
 - スヌーズマーク：スヌーズ機能の[入・切]状態を表示します。
 - 温度表示：本体内蔵のセンサーにより温度を表示します。
 - カレンダー表示：月/日/曜日を表示します。
※アラームがONとき、アラーム設定時刻を表示します。
- ### 操作ボタン
- ①[WAVEボタン] 手動受信と受信中止するときに使用します。
 - ②[▲ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。
 - ③[▼ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。
 - ④[SETボタン] アラーム時刻設定と手動時刻設定に使用します。
 - ⑤[アラームスイッチ] アラームの入/切に使用します。
 - ⑥[SNOOZE/LIGHTボタン] スヌーズ機能を使用してアラームを止めるときに使用します。通常表示のときに押すとライトが約4秒点灯します。

- ### 【電池フタツマ受け穴】
- ### 【電池ホルダ】
- 電池を入れるときは、一側から入れて下さい。
 - 電池をはずすときは、+側からはずして下さい。
- ### 【ツマ部分】
- ### 【電池フタ】
- 電池フタを開けるときは、パネ部分に指を掛けて押し上げて下さい。
 - 電池フタを閉じるときは、ツマ部分を差し込んでからパネ部分を押しして下さい。

- ### 電波受信ON/OFFスイッチの使い方
- 電波自動受信または、手動受信ができる状態にする
電波受信ON/OFFスイッチをONの位置にする。
ON/OFF 電波受信ON/OFFマークのONが点灯
ON/OFF 受信マーク(電波状況マーク)が点滅し、電波受信を始めます。
 - 電波受信をしない状態にする
電波受信ON/OFFスイッチをOFFの位置にする。
ON/OFF 電波受信ON/OFFマークのOFFが点灯
ON/OFF 電波受信ON/OFFスイッチをOFFにしてご使用下さい。
- ※海外で現地時刻でのご使用または、任意の時刻設定でご利用の場合は、電波受信ON/OFFスイッチをOFFにしてご使用下さい。

時計の使い方(お使い始め)

自動設定 (電波受信による時刻・日付設定方法)

- 電波時計としてお使いになる場合は、以下の操作をして下さい。
- ①液晶表示の保護シートを剥がして下さい。
 - ②電池フタを開けて単4形乾電池1個を+の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じて下さい。液晶が表示され「ピッ」と確認音が鳴り、電波の受信を開始します。
 - 受信中は受信マークが点滅します。
 - 受信中に電波状況表示を確認し、本取扱説明書の「使用場所について」を参照して、電波を受信しやすい場所に本体を設置して下さい。
 - 受信には最長14分かかります。
 - 受信の結果を確認して下さい。
 - 本取扱説明書の「受信の状態について」を参照して下さい。
 - 受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
 - 受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。

電波受信ができなかった場合は・・・

- ①一昼夜そのままにして様子を見て下さい。夜間は比較的電波受信の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。初期受信に失敗しても、定期的に自動で受信を始めるので、本取扱説明書の「リセット操作について」を参照して、午後8時以降を目安にリセット操作を行い、夜半を経過して様子を見て下さい。
- ②設置場所を変えて、手動受信をして下さい。本取扱説明書の「手動受信について」を参照して、本体の向きや置き場所を変えて、手動受信をして下さい。
- ③手動による時刻・日付設定をして下さい。本取扱説明書の「手動設定」を参照して、時刻・日付を手動で合わせて下さい。
- 手動で時刻を合わせた場合も、定期的に自動受信を開始して、受信に成功すると、自動で時刻を修正します。

受信の状態について (受信マークの表示例)

- 電波受信ON/OFFスイッチがONの場合、受信マークは以下のように表示します。
- 点滅中
■受信中(電波を探している状態)です。
※40kHz/60kHzの点灯は、電波受信を意味します。
電波状況チェック機能について
■受信中の設置場所の電波状況を表示します。
 - 点灯
■受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。
※次の受信開始まで点灯し続けます。
 - 消灯
■受信に失敗して終了しています。
※次の受信開始(点滅)まで、表示されません。

自動受信について

本体表面の電波受信ON/OFFスイッチがONになっていることを確認して下さい。

自動受信は1日に最多3回(午前2～4時の毎正時)行われます。午前2時の受信に成功すると、次の日の午前2時まで受信はしません。午前2時の受信に失敗すると午前3時に、受信に成功するまで3回受信を繰り返します。

手動受信について

電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯)しているとき、WAVEボタンを2秒以上押しすると電波受信を開始します。
※電波受信中にWAVEボタンを2回押すと電波受信を終了します。

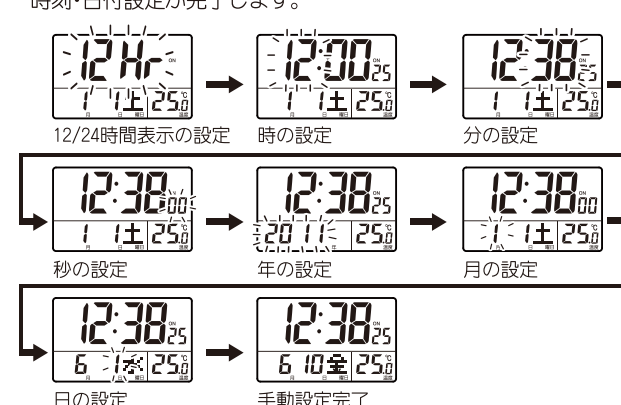
アラーム(目覚まし)の使い方

アラーム時刻の設定

- 注意 ※設定中の点滅は約1分以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。
- ※電波受信中はアラーム時刻の設定操作は出来ません。WAVEボタンを押して電波受信を終了してから設定をして下さい。
- ①アラームスイッチをONにしてアラーム設定時刻を表示させます。
 - ②SETボタンを2秒以上押し続けるとアラーム時刻設定モードに入ります。→[時]部分が点滅します。
 - ③▲ボタン/▼ボタンを押して[時]を設定します。
 - ④[時]の設定が終了したら、SETボタンを押します。
 - [分]部分が点滅します。
 - ⑤▲ボタン/▼ボタンを押して[分]を設定します。
 - ⑥[分]の設定が終了したら、SETボタンを押します。
 - [スヌーズ間隔時間]が点灯します。
 - ▲ボタン/▼ボタンを押してスヌーズ間隔時間を設定します。(5～60分の間の任意の時間)
 - ⑦[スヌーズ間隔時間]の設定が終了したら、SETボタンを押します。
 - 設定が完了します。
 - ※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
 - ※[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。

手動設定 (手動による時刻・日付設定方法)

- 電波を受信できない場合、または電波受信ON/OFFスイッチがOFFで時刻を設定する場合、以下の操作をして下さい。
- 注意 設定中の点滅は約1分以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。
- ①アラームスイッチをOFFにして下さい。
 - ②SETボタンを2秒以上押し続けると時刻設定モードに入ります。時刻表示部分が点滅します。
 - ③▲ボタン/▼ボタンを押して[12時間表示]または[24時間表示]を設定します。
 - ④SETボタンを押すごとに[12/24時間表示]→[時]→[分]→[秒]→[年(西暦)]→[月]→[日]が点滅します。▲ボタン/▼ボタンを押して、それぞれを設定します。
 - ※[秒]設定のときに▲ボタン/▼ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
 - ※[年・月・日]を合わせないと[曜日]は正しく表示されません。
 - ⑤[日]の設定が終了したらSETボタンを押して下さい。点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、手動による時刻・日付設定が完了します。



アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす
アラームスイッチをONの位置にする。
-
- ※アラームは鳴り始めから約1分後に自動的に止まります。
- アラームを止める
アラームスイッチをOFFの位置にする。または、WAVEボタン/▲ボタン/▼ボタン/SETボタンを押す。
-
- ※アラームマークは点灯したままです。

止めてもまた鳴るスヌーズ機能とライト機能

- アラームが鳴っている間に、SNOOZE/LIGHTボタンを押すと、アラームが一息鳴り止まり、再び鳴り出します。
- ※スヌーズ間隔時間は、5～60分の間で任意の時間が設定できます。
- ※スヌーズ機能中は、Zマークが点滅します。
- ※スヌーズ機能は、何回でも繰り返すことが出来ます。
- ※アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にします。
- SNOOZE/LIGHTボタンを押すとライトが約4秒間点灯します。

リセット操作について

電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れる前に、SNOOZE/LIGHTボタンを数回押して、表示面に何も表示されていないことを確認してから、新しい電池を入れて下さい。